

日本児童文学学会第 63 回研究大会のご案内(第 2 報)

日本児童文学学会第 63 回研究大会実行委員会
事務局 〒605-0062 京都府京都市東山区林下町 3-456
京都華頂大学・華頂短期大学
実行委員 柿本真代・遠藤純・土居安子・浜崎由紀・横川寿美子
Eメール : 2024taikai@jsfcl.jp

会員の皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。

第 63 回研究大会のご案内(第 2 報)をお届けいたします。万障お繰り合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆確認のお願い

今回同封してお送りしたのは、次の 3 点です。不足がありましたら、お手数ですが、実行委員会までお知らせください。

1. 日本児童文学学会第 63 回研究大会のご案内・第 2 報
2. 日本児童文学学会第 63 回研究大会プログラム
3. 研究大会参加申込・総会出欠確認用ハガキ

◆参加申込みと総会委任状(総会ご欠席の場合)について

準備の都合上、11 月 15 日(金)までに、以下の Google フォーム(以下の URL/右の QR コード)にて大会・懇親会参加の有無ならびに領収書の発行の希望等についてお知らせください。

総会ご欠席の場合は、委任欄へのチェックを忘れずをお願いします。

<https://forms.gle/zN4ukz1Dhf1zkruC8>

フォームでのご入力難しい場合は同封の「研究大会参加申込・総会出欠確認用ハガキ」(恐れ入りますが、宛先を書き、切手を貼ってください)に必要事項をご記入のうえ、実行委員会までご返送ください。総会にご欠席の場合は、委任状欄に署名・捺印をお願いいたします(11 月 15 日必着)。



◆参加費・懇親会費について

大会参加費は下記の通りです。

1. 会員 2,000 円 / 会員(学生) 1,000 円
2. 非会員 1 日につき 2,500 円 / 非会員(学生) 1 日につき 1,000 円
3. 懇親会費 5,000 円(希望される方)

参加費および懇親会費は、11月22日(金)までに、Square(Google フォームにて参加申込みをしていただくと決済画面が表示されるほか、以下の URL/QR コードからもアクセス可能です)にて可能な限り事前決済をお願いします。クレジットカード等で簡単にお支払いができます(手数料は大会で負担します)。懇親会費含めお支払い後の返金はいたしませんのでご注意ください。

事前決済ができない場合は研究大会当日に会場受付にてお支払いください。その場合お釣りのないようにご用意くださいますようお願いいたします。

<https://jscl2024kacho.square.site/s/order#items>



◆出張依頼書について

出張依頼書をご入用の方は、学会 HP よりダウンロードしてご使用ください。

◆受付

大会1日目11月30日(土)13時、2日目12月1日(日)9時30分から、6号館3Fエレベーターホールにて受付をいたします。受付場所の詳細は、当日6号館正面入口に掲示しますので、掲示にてご確認ください。

受付で、領収書(希望の方は参加申込みフォームにてご回答ください)・ネームプレート・「研究発表要旨集録」をお渡しいたします。なお、ネームプレートは大会参加証となりますので、構内出入りの際は防犯のため必ず衣服につけていただくようお願いします。また、ネームプレートはお帰りの際にご返却ください。

◆受付大会期間内の昼食について

11月30日(土)・12月1日(日)ともに、各自でご用意ください。会場校の食堂・コンビニエンスストアは営業していませんので、近隣の飲食店・コンビニエンスストアなど(徒歩5分以内の場所にファミリーマート、スーパーフレスコがあります)をご利用ください。昼食時は6号館3階各教室および3号館1階学生ラウンジをお使いいただけます。

◆研究発表者・司会者へのお願い

発表者および司会者は、各分科会開始時刻の15分前に発表会場にご集合ください。

研究発表時間は20分で、質疑・応答・討議と発表者の交代時間10分を含む計30分を、各発表者の持ち時間といたします。他の発表との進行の都合上、時間厳守でお願いいたします。なお、発表中止などの場合は、発表者を繰り上げず、その時間は休憩といたします。

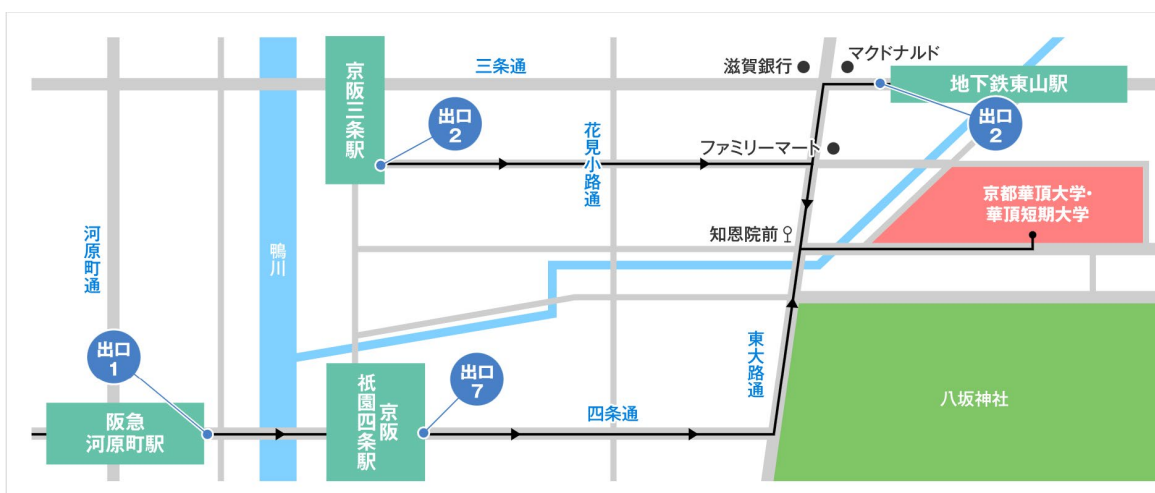
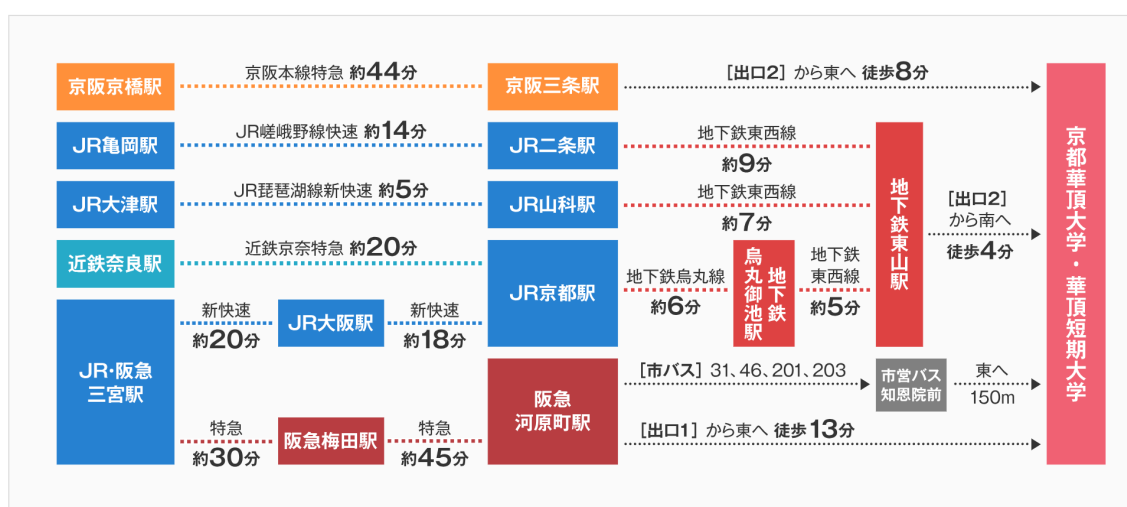
◆大会期間中の連絡先

大会期間中、緊急の場合の連絡先は次の通りです。

◆宿泊案内

大会実行委員会では宿泊の斡旋はいたしませんので、各自でご予約ください。観光シーズンでもありますので、交通案内をご参照のうえできるだけお早めにホテル等をご予約ください。京都市内各地(河原町・四条烏丸・山科・京都駅周辺など)のほか、京阪京津線・JR 沿線(大津・浜大津・草津など)の滋賀県各地も便利です。確保が難しい場合、大阪(梅田・新大阪など)もご検討ください。

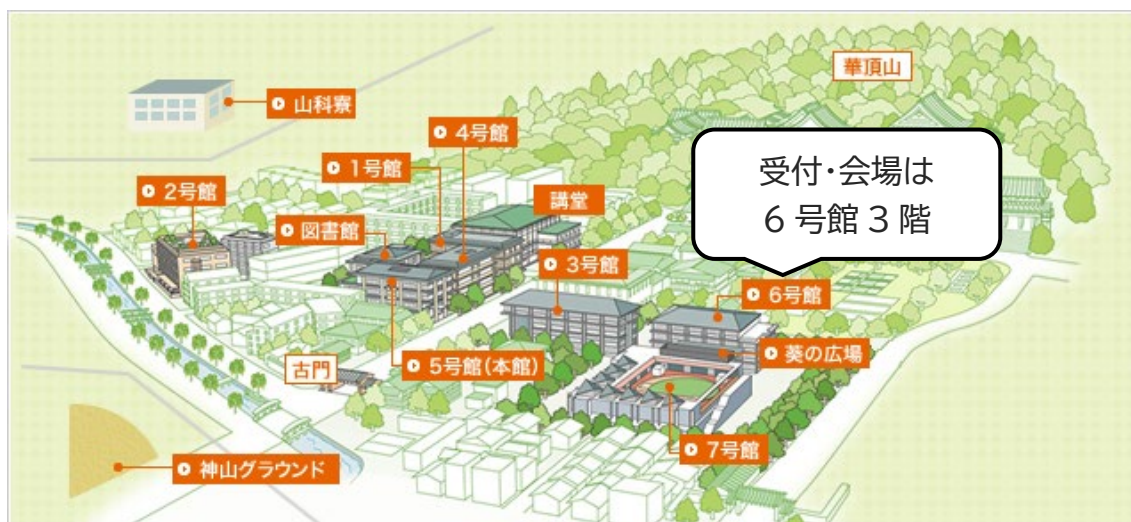
◆交通案内



- ・ 京都駅方面からの市バスは大変混雑します。京都市営地下鉄のご利用をおすすめします。
- ・ 会場校の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。
- ・ 詳細なアクセスは以下の大学 HP からご確認いただけます。

<https://www.kyotokacho-u.ac.jp/access/>

◆キャンパスマップ



- ・ 知恩院古門をくぐり、直進後右手の葵校舎に入り奥へお進みください。2 番目の建物が受付の 6 号館です。
- ・ 懇親会場は 3 号館地階です。

日本児童文学学会 第 63 回研究大会 プログラム

1. 開催日 2024 年 11 月 30 日(土)・12 月 1 日(日)
2. 会場 京都華頂大学・華頂短期大学 葵校舎 6 号館
〒605-0062 京都府京都市東山区林下町 3-456
3. プログラム

【第 1 日目】11 月 30 日(土)

11:00 ~ 12:00	理事・評議員連絡会	6-302
13:00~	受付開始	6 号館 3 階エレベーターホール
13:30 ~	研究発表 I 分科会①	6-303
16:10	分科会②	6-301
16:20 ~ 17:20	学会賞授賞式及び総会	6-401
17:30 ~ 19:30	懇親会	3 号館地階 ランチスクエア

【第 2 日目】12 月 1 日(日)

9:30~	受付開始	6 号館 3 階エレベーターホール
10:00 ~	研究発表 II 分科会①	6-303
11:30	分科会②	6-301
11:30 ~ 12:30	昼食 ※各自でご用意ください	6 号館 3 階各教室 3 号館 1 階学生ラウンジ
12:30 ~	研究発表 III 分科会①	6-303
14:00	分科会②	6-301
14:20 ~ 16:20	シンポジウム	6-401

会員休憩室は、6 号館 3 階 6-302 です。3 号館 1 階学生ラウンジもご利用いただけます。

11月30日(土)

受付は13時より6号館3階エレベーターホールにて行います。

第1日目

理事・評議員連絡会

11:00～

会場: 6-302

研究発表 I 13:30～16:10

【分科会 ①】司会:今田由香(日本女子大学) 鈴木穂波(大阪大谷大学)

会場: 6-303

1. 松谷みよ子『やまんばのにしき』絵本の成立研究

来栖史江(大阪樟蔭女子大学)

2. 児童文学への興味や関心をはぐくむ講義に関する検討

—児童文学を専門としない学生への授業実践を中心に—

八幡真由美(国立音楽大学)

3. 気象を対象とする子供の達成感を育むインスタレーション型ワークショップ

付承翔(フ ショウショウ)(東京造形大学大学院修士課程)

4. 絵本観の出発:先人たちの言動から解き明かす

永田桂子(京都女子大学大学院(元非常勤講師))

5. 第二次大戦後の「3びきのくま」の受容研究—戦後20年間を中心に—

丸尾美保(元梅花女子大学教授)

【分科会 ②】司会:遠藤純(武庫川女子大学) 藤本芳則(大谷大学名誉教授)

会場: 6-301

1. 大日本婦人教育会における巖谷小波の活動

目黒強(神戸大学)

2. 巖谷小波と久保田米斎

—巖谷家所蔵「巖谷小波絵はがきコレクション」を手がかりとして—

土居安子(大阪国際児童文学振興財団)

3. いとう呉服店の児童文化関連事業:明治末から大正期の展開を中心に

酒井晶代(愛知淑徳大学)

4. 「少年の夢」としての飛行機像と戦争の影響—戦間期の視聴覚玩具を中心に—

福島可奈子(大阪大学)

学会賞授賞式・総会 16:20～17:20

会場: 6-401

懇親会 17:30～19:30

会場: 3号館地階 ランチスクエア

12月1日(日)

受付は9時30分より6号館3階エレベーターホールにて行います。

第2日目

研究発表Ⅱ 10:00~11:30

【分科会 ①】司会:青木文美(愛知淑徳大学) 宮川健郎(大阪国際児童文学振興財団)

会場: 6-303

1. 戦前期の童画作品における「写真を撮る子ども」の描かれ方

遠藤知恵子(白百合女子大学児童文化研究センター非常勤助手)

2. 椋鳩十『動物ども』における「私」の構築—短編集としての統一性はどのように形成されたか—

横川寿美子(帝塚山学院大学(退職))

3. 「童話伝統批判」の時期の<素人の童話>追求—『婦人朝日』「わたしの童話」欄の意味と意義—

佐藤宗子(千葉大学名誉教授)

【分科会 ②】司会:中地文(宮城教育大学) 藤本恵(武蔵野大学)

会場: 6-301

1. 二十世紀初期の児童文学・少女雑誌に見る女性の歴史的人物—静御前伝の変容を中心に—

Aafke VAN EWIJK (アーフケ・ファン=エーワイク)

(日本学術振興会外国人特別研究員(立教大学))

2. 大正期の少女雑誌に掲載された女性の伝記の様相—『新少女』を例に—

渡辺貴規子(大阪大学)

3. 川端康成の少女小説研究—「薔薇の家」の位置づけ—

小林和江(梅花女子大学 研究生)

研究発表Ⅲ 12:30～14:00

【分科会 ①】司会: 鶴野祐介(立命館大学) 川北典子(大谷大学・京都女子大学非常勤講師)

会場: 6-303

1. 作家グンネル・リンデの活動から見るスウェーデン公共放送における子ども観

上倉あゆ子(東海大学)

2. 歌い継がれる童謡「あの子はたあれ」とその広がり

西河陽子(大阪教育大学大学院修士課程)

3. 日本放送協会組織大改革後の「子供の時間」の検討

畠山兆子(梅花女子大学名誉教授)

【分科会 ②】司会: 井上征剛(山梨英和大学) 川端有子(日本女子大学)

会場: 6-301

1. 『秘密の花園』から読む愛着の絆の結び直し

福島令佳(北海道大学大学院文学研究院 文化人類学研究室専門研究員)

2. 絵で読む『ピーター・パン』—日本における受容の観点から—

水間千恵(白百合女子大学)

3. アンデルセンと遊びの文化—現代デンマークのアンデルセン教育の可能性—

久木田奈穂(大阪大学大学院博士前期課程)

シンポジウム 14:20～16:20

会場: 6-401

近代日本の児童文学を彩ったもの—口絵・挿絵の世界—

コーディネーター : 宮川健郎(大阪国際児童文学振興財団)

基調講演 : 出口智之(東京大学)

登壇者 : 今西彩子(鎌倉市鏑木清方記念美術館)

遠藤純(武庫川女子大学)

柿本真代(京都華頂大学)